

# 家計消費状況調査 通信

日々お忙しい中、家計消費状況調査にご回答いただき、ありがとうございます。  
ここでは、皆様のご回答からわかる様々な暮らしぶりの変化をいくつか紹介します。

## 宿泊料への支出が多い月は？

皆様の中には、夏休みなどを利用して、旅行を計画されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで今回は、宿泊料の支出金額についてご紹介します。

2024年の二人以上の世帯における宿泊料の1世帯当たり支出金額を月別にみると、1年のうち、夏休みやお盆休みのある8月が突出して多くなっています（図1）。

これを世帯主の年齢階級別にみると、60歳以上の世帯では、各月で支出の差があまりありませんが、60歳未満の世帯では、8月の支出の多さが目立ち、特に40～49歳の世帯において8月に集中しています（図2）。

このように、宿泊料への支出は、年齢階級によって傾向が異なることがわかります。

図1 宿泊料の1世帯当たり支出金額の推移（2024年）  
（二人以上の世帯）

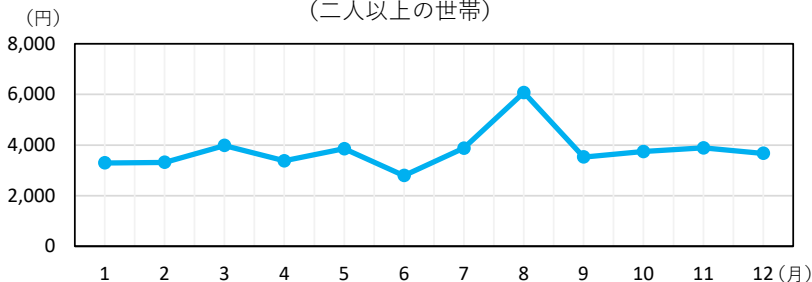
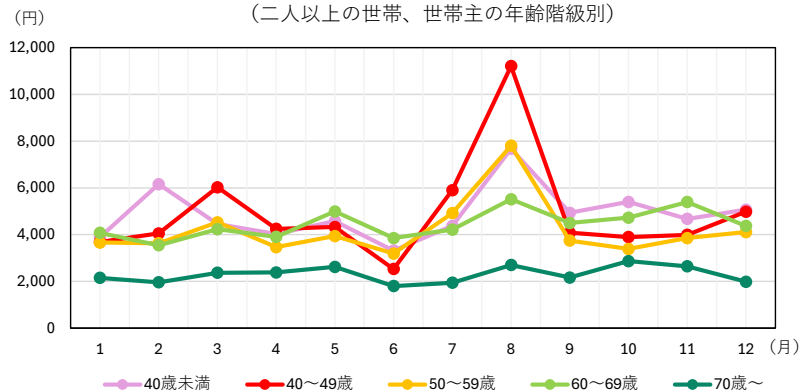


図2 宿泊料の1世帯当たり支出金額の推移（2024年）  
（二人以上の世帯、世帯主の年齢階級別）



ご協力をお願いします

- ◆調査票のインターネットでの送信又は郵送での投函は、翌月5日までに行ってください。
- ◆「訪問・郵送提出」を選択された場合、1か月目（調査開始月）及び6か月目は、訪問する調査員に調査票をお渡しください。

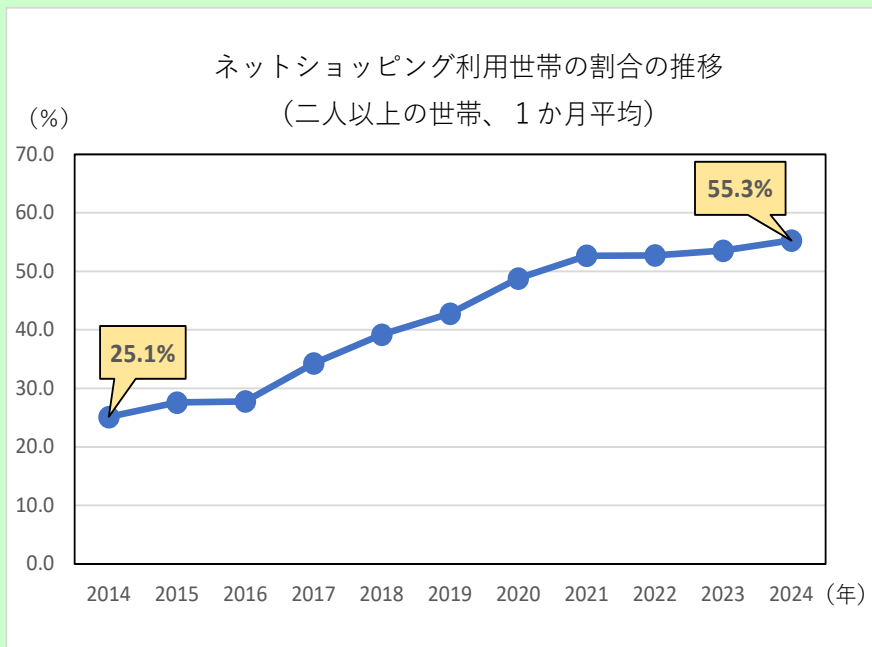


# ネットショッピング利用世帯の割合

家計消費状況調査では、ネットショッピングを利用した支出について調査しています。そこで、今回はネットショッピング利用世帯の割合について紹介します。

ネットショッピング利用世帯の割合の推移をみると、2014年から2024年までの期間で約2倍となっています。特に、2017年から2021年にかけて大きく増加し、2021年には50%を超えました。

2022年以降、増加幅は落ち着きをみせていますが、増加傾向は続いており、2024年は調査開始以来、過去最高を更新しました。



e-Stat 統計で見る日本  
政府統計の総合窓口

統計データを探す 統計データの活用 統計データの高度利用 統計関連情報 リンク集

キーワード検索:  検索



「政府統計の総合窓口（e-Stat）」から、  
統計データ等の各種情報がご覧いただけます。  
<https://www.e-stat.go.jp/>



家計消費状況調査は、皆様のご理解とご協力の上に成り立っており、調査結果は、政府の景気判断の材料となっているほか、幅広く利用されています。引き続き、調査へのご回答をよろしくお願いいたします。